



2019年10月26日(土)相模原市みどりの少年団「森林体験学習」を、雨が上がった心地よい木もれびの森イヌシデ広場で行いました。小学1年生から中学生までの49名の参加、スタッフ8名、こもれび会員13名でサポートしました。

【1】最初に、木もれびの森のお話。特徴は、平らの所にあること、



森の手入れがされなくなってしまったこと。そこで私たち「こもれび」が、きれいに保つために、草を刈り、木を伐っています。



美しい森を目指しています。

午前10時、【2】3班に分かれて一本ずつ伐採です。安全な方向に倒すためロープを木の高いところに掛けてから、のこぎりで分担して伐ります。

ドーンと倒れました。そして伐った木の幹や枝を整理しました。



【3】伐った木の利用法として、シイタケを栽培するために、シイタケ菌を木に植え付けました。2年後にシイタケができるといいですね。面倒見てくださいね。ここでお昼になりました。用意されたお弁当をいただきました。



【4】伐った小枝を輪切りにしてぶんぶん



ごまをつくりました。みんなよく回していました。ほんとにブンブンと音がするんですね。駒に

絵を描いたら回るとききれいです。

【感想】◎木を沢山切ったのが良かった。◎ぶんぶんごまづくり、楽しかった。

◎木を倒すとき力が欲しかったけど、綱をひっぱたら倒れたのがよかった。

オトコエシがきれい！



◎楽しかった。【終わり】午後3時前、元気に帰って行きました。こもれびの森を愉しんでくれて、ありがとうございました。

